

# 桜木東だより

校訓  
夢をもち  
よく学び  
よく遊び  
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.12

発行日 令和6年7月16日

校長 片山 明光

## 夏遊びに歓声が!!

7月9日(火)に1年生の生活科の授業に「ふるさとの会」の方々6人に来ていただき、「夏遊びを楽しもう」というねらいで活動を行いました。ふるさとの会の方々で作られた水鉄砲のブース、1年生が自分で用意したストローやうちわの骨などを使用するシャボン玉のブース、家から持ってきたペットボトルなどを使って水鉄砲のようにした的あてのブースの3つが用意され、クラスごとに順番に回っていきました。1年生はぬれてもいいように水着を着て、暑いので黄色い帽子をかぶり、楽しそうに活動していました。水鉄砲で遠くまで飛ばしていた子は「楽しい!来年もまたやりたい!」と言っていました。子どもたちの笑顔と歓声が続いた2時間でした。準備から後片付けまでしていただいたふるさとの会の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。



水鉄砲での風船を狙います

## Orihime が授業に参加!

7月10日(水)と12日(金)には、桜木東校区に在住はしていますが、黒石原支援学校に在籍している4年生男児とのオンライン交流授業を行いました。昨年まではZoomでつないでの授業だったのですが、今年は九州ルーテル学院大学の栗原和弘教授の発案のもと、分身ロボット Orihime (オリヒメ) を使った授業となりました(栗原教授とルーテル大の学生さんたちも一緒に授業を見ていただきました)。このオリヒメは、ただカメラで授業を見るだけでなく、手をあげたり、首を回して発表する友達を見たり、当てられたら発表したり、本人は普通に教室にいるのと同じように授業を受けることができます。また電子黒板には本人の映像がリアルタイムで映っていますので、教室のみんなは本人を見ながら授業を受けています。オリヒメを使ってくれた子も手を挙げて、クラスにいるみんなが納得するような意見をたくさん発表してくれました。このような授業は、私も初めてだったのですが、子どもたちは特に違和感もなく取り組んでいました。授業が終わってからもオリヒメ越しに楽しくおしゃべりもしていました。だんだんとこのような授業が普通になってくるのだろうと考えさせられました。2学期にも2回、同じように道徳の授業を行う予定になっています。



イメージしやすいように頭には本人の写真が貼ってあります

## 水俣についてのお話を聞きました

5年生は2学期に「水俣に学ぶ肥後っこ教室」で実際に水俣市に出かけて行って資料館などで水俣のことについて学びますが、事前学習として7月11日(木)に絵本作家であり、水俣病について勉強され日本中を講演して回っておられる三枝三七子様を講師に迎え、お話をいただきました。講話では、水俣病の説明や水俣病に関する差別など詳しい話があり、子どもたちも話に引き込まれました。これからも事前学習を続け、9月に水俣資料館でしっかりと学んできます。



著書である「みなまたの木」の朗読もありました

今週も多くの外部の方に来て校していただき講話や授業を行いました。今後もこのような形での取り組みを継続して行い、地域や外部の団体等と連携した教育活動を行っていきます。